

庁舎建設 ふちゅう かわら版 第3号

すべての人にとって安全で、
使いやすい施設とは



9月21日、第3回府中市庁舎建設基本計画市民検討協議会が開かれました。

今回は、「現庁舎について、利用者の目線で気付くことや感じていること」「個性ある新庁舎、ふちゅうで実現する庁舎におけるユニバーサルデザインについて」の大きく二つのことについてグループ毎にディスカッションしていただきました。日常的に庁舎を利用しているからこそ気づくことや、問題点について協議会の中でディスカッションを行い、新たな庁舎に必要な配慮とはどういったことが考えられるか利用者の目線での意見を出していただきました。今後、人の集まる庁舎に育てていくにあたって「全ての人のため安全で、使いやすい施設」であることが、とても大事な視点となります。ふちゅうらしい個性のある新庁舎を実現するためには、日常的な利用だけでなく、休日開放や災害時といった複数の場面を想定し、計画を進めていく必要があります。

一次第一

平成25年9月21日 (土)

10:00~12:00

1. 前回のまとめ
2. グループディスカッション
 - ・現庁舎について、利用者目線で気付くことや感じていること
 - ・新庁舎におけるユニバーサルデザインについて
3. その他



市民協働：市民と職員の意見交換

第2回市民検討協議会で「市民と行政の関係をよりよくする為の庁舎の役割」について出された意見を、職員検討会※1において投げかける形式で双方の意見交換を行いました。ふたつの場で出された多くの意見の中から、将来、新庁舎を利用して実現するものが出てくることが期待されます。

※1 職員検討会：市職員によるワークショップ

□市と市民の関係をより良くするための庁舎の役割

市民の意見① 市と地元企業の協働の場、産官学の活動の拠点となる場や、新しい産業や企業を創生するディスカッションの場の提供

→職員のアイデア
市民の健康を考える産官学連携
サントリー：ノンアルコール飲料の提供
大学：新入生歓迎会などでサントリーをPR
市：急性アルコール中毒を減らす啓発
農工大関係：野菜直売所、市民農園の支援、ペットの健康相談

市民の意見② 若者に市役所のアピールを

→職員のアイデア
自由に使える休憩スペース、カフェ等、居心地の良い空間、街コンなど

グループディスカッションのまとめ

下記に示す6項目に対して、「府中市ユニバーサルデザインの5つの視点※2」を庁舎において満足するためにはどういった取組が必要か意見を出していただきました。

※2 府中市ユニバーサルデザインの5つの視点：公平（誰もが同じように）・簡単（容易に）・安全（危険なく）・機能（使い勝手よく）・快適（気持ちよく）

トイレ

①現庁舎で気付くこと

- ・数が少なく、狭い
- ・汚い、暗い
- ・オストメイト設備がない
- ・洗浄ボタンは手動がよい/
全て自動がよい（逆の意見）

②新庁舎での配慮

- ・トイレはわかりやすい位置に配置してほしい

交通

①現庁舎で気付くこと

- ・通路、階段、エレベーターが狭い
- ・スロープが急勾配
- ・段差が多い
- ・エレベーター台数が少ない
- ・駐輪場の天井が低い

②新庁舎での配慮

- ・ゆるやかな勾配の階段、階段の位置
- ・来庁者人数を考慮した動線計画が必要
- ・凹凸の少ない歩行用点字の導入

セキュリティ

①現庁舎で気付くこと

- ・監視カメラの設置が必要
- ・窓口にシャッターを設置
- ・書類の管理を厳格に
- ・出入口のセキュリティ管理が無防備すぎる。

②新庁舎での配慮

- ・休日利用も多くなると思うので、エリア毎にセキュリティ計画を立てる

情報発信

①現庁舎で気付くこと

- ・庁舎内の案内がわかりにくい

②新庁舎での配慮

- ・高齢者の歩行距離を少なくする
- ・案内を分かりやすくする
- ・障がい者専用の総合窓口の設置

開庁日・開庁時間

①現庁舎で気付くこと

- ・開庁日を増やしてほしい
- ・開庁時間が短い

②新庁舎での配慮

- ・年中無休で土日も開庁していたら便利

環境配慮

①現庁舎で気付くこと

- ・太陽光エネルギーの活用
- ・西側に木を植える
- ・1階の談話室が味気ない

②新庁舎での配慮

- ・各フロアに休憩スペースを設置
- ・庁舎は広く、明るく



※各グループの意見など詳細は府中市ホームページをご参照下さい